

▼烏江（李清照）

烏江

李清照

生^{マレテ}当^{トキ}作^{ナシ}人^ト傑^ト¹
死^{シテ}亦^モ為^{ナリ}鬼^ト雄^ト²
至^ル今^ニ思^フ項^羽
不^ズ肯^ズ過^ル江^東³

生まれては当に人傑と作るべし
死しては亦鬼雄と為らん
今に至るまで思ふ項羽の
江東に過ぎるを肯んぜざるを

【注】

◇李清照 一〇八四年？～一一五一年？。
号は易安居士。北宋の女性詩人。

◆李清照集

- 1 人傑 特に優れた人。傑出した人物。
- 2 鬼雄 幽霊の中の英雄。
- 3 過 行く。移る。

【口語訳】

烏江

生まれたからには傑出した人物となるべきだ。
死んでもまた幽霊の英雄となるべきだ。
今に至っても思うのだ、項羽が

江東に戻（って再起を図）ろうとはしなかった（その潔さの）ことを。